

ロープウェイ入口電停周辺

景観まちづくり ニュースレター

vol.2

発行者：札幌市地域計画課
発行日：平成27年1月

第2回意見交換会を行いました

- 第2回の意見交換会には山鼻第12・第18町内会を中心とした地域住民の皆さんにお集まりいただきました。
- 今回は実際にまち歩きをして意見交換を行う予定でしたが、悪天候のため中止となり屋内での意見交換に変更しました。

参加者の皆さんからいただいた様々なご意見は、裏面でご紹介します。



景観まちづくりに関する 取組を行っています!!



- 路面電車の路線ループ化などの機会をとらえ、沿線地区の景観的な魅力を高めていくための景観まちづくりの取組を行っています。
- 平成25年度から地域特性の把握や意見交換などを始め、平成26年度も地域の皆さまと意見交換を行いながらガイドラインづくりを具体的に進めていきます。平成27年度以降は、ガイドラインに基づいた取組を展開していく方針です。

ガイドライン作成に向けたスケジュール

- | | | |
|-----------------------|--|--|
| 第1回
平成26年
3/18 | ○景観まちづくりスタート
○地区の現状や環境まちづくりで大切にしたいこと | |
| 第2回
平成26年
11/18 | ○「景観まちづくりで大切にすべきこと」を確認
○さらに日頃気づいたことや、出来そうな取組を検討 | |
| 第3回
平成27年
2/13 | ○ソフト面のガイドラインに盛り込む取組案の提示
○ハード面の配慮事項やルールについて検討 | |
| 第4回
平成27年
3月頃 | ○ハード面のガイドラインに盛り込む取組案の提示
○出来そうな取組の具体的な活動内容の検討 | |
| ガイドライン案の作成 | | |
| 第5回
以降 | ○ガイドラインの確認～策定
○ガイドラインにもとづく取組の展開 | |

「景観まちづくりで大切にすべきこと」を確認しました

- 「景観まちづくりで大切にすべきこと」として図に掲載している6つの項目が全体で確認されました。



裏面に
つづく

日頃こんなところに“気づいた”!! みんなで協力しながら “こんな取組”ができそう!!



1. 日頃こんなところに“気づいた”!!

■電停⇄シャトルバス乗り場⇄ロープウェイ入口

- 電停⇄シャトルバス乗り場の案内板が活用されていない。
- ロープウェイ入口周辺の空地のベンチが活用されていない。
- 近くの立体駐車場は景観的に良くない。
- 電停周辺の花は町内会で購入しているので市に協力してもらえないか。

■案内看板(サイン)

- 電停からロープウェイ入口までの案内がわかりにくい。
- シャトルバスの案内板がわかりにくい。
- 外国語表記が無く、よく迷っている外国人がいる。
- 夜は見えにくい。

■その他

- 建物の色にもルールを作ってはどうか。
- 山ろく通の自転車のスピードが速くて危険である。
- 歩道を拡幅してはどうか。

■シャトルバス

- シャトルバスの停留所を魅力的にしたい。
- シャトルバスの利用者が少ない印象。
- 外国人の利用が多い印象。
- 停留所にベンチも無く、寂しい印象。

■雪灯り・かまくら

- 緑が無くなる冬に、雪で何かしたい。
- 今ある雪灯りの取り組みをさらに大きくしたい。

■散策路・自然

- 散策路をもっとたくさんの人に知ってほしい。
- 入山者のマナーが良くない印象。
- 原始林をもっとPRしてはどうか。
- 登山者の休憩施設が無い。
- 外国人対応も含めた案内ボランティアがあると良い。

2. みんなで協力しながら“こんな取組”ができそう!!

■電停⇄シャトルバス乗り場⇄ロープウェイ入口をつなぐ

- 停留所の新しいデザインを考える/プロのデザイナーに頼む
- 観光地らしく花を植える/電柱・電線の地中化
- 信号の音/市電の音を変更する
- 電停を降りてシャトルバスまでのサインをつくる

■案内看板(サイン)の改善

- 看板を大きくする
- 灯りや歩道色で誘導できるようにする
- 電停用のロープウェイまでのサインを用意する
- 外国語の案内板
- 景観を損ねない統一したデザインにする
- 看板のルールをつくる
- 路面電車の広告物は過度・大規模には行わない

■その他

- 地域のテーマカラーを設定する
- 雰囲気統一のため建物の色合いも統一する
- 歩道や街路樹のデザインの検討
- 山ろく通の下りを速度規制
- 豊平川のサイクリングロードから道をつなげる

■景観ガイドラインについて

- 理想だけを書いては実行になかなか移っていかない。
- 地域全体で作っていきなかつ、他の地域・町内会の意見や調査も必要だと思う。
- ガイドライン作成には若い世代の意見も取り入れていきたい。

■シャトルバス乗り場・周辺の顔づくり

- シャトルバス駐車場をもっとわかりやすくする/ベンチ設置
- 幌平橋からバスを走らせてはどうか/水道記念館・伏見稲荷を通るコースはどうか
- 停留所付近に貸し自転車を設ける
- 街路樹を植える/花を植える
- 誘導灯の設置

■冬は雪を活用する

- 子どもたちや先生と協力して楽しむ
- もっと雪灯りを行う/雪まつりの前後などの時期も考える
- もいわクリスマスで原始林のツリーを設置してPR
- 活動には地元の中学生・高校生にも参加してもらいたい

■散策路の魅力づくり・原始林の魅力発信

- 散策路に名称を付けてPRしてはどうだろうか
- 春の芝桜以外にも四季の花を植える
- 山頂近くの木に樹名板を付けて樹木を紹介する

■地域を案内するコンシェルジュ

- 山頂にボランティアガイドがいると良い
- ガイドには外国語に対応できる人がいると良い



今後の予定について

- 平成26年度はガイドライン作成に向けて3回の意見交換を実施する予定です。
- 第3回を下記日程で行います。参加希望の方は、右の連絡先までご連絡ください。

平成25年度
第1回
3月18日(水)
13:30~15:30

平成26年度
第2回
11月18日(水)
13:30~15:30

第3回
2月13日(金)
13:30~15:30
於:伏見小学校
ガイドラインに盛り込む
取組案について

平成26年度
第4回
意見交換

お問い合わせ先

札幌市 市民まちづくり局
都市計画部 地域計画課
担当:山田、堀、山本
TEL:011-211-2545
FAX:011-218-5113

URL:<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/keikan/index.html>

